

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅・池永
日 時	平成24年7月19日(木曜日)		開 議 午前10時 00分
			閉 議 午前11時 13分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 西村 明田 石野 (木曾議長欠席)		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 - 名	

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

### 2 議事

(1) 議会だよりの掲載事項について

(ア) 153(6月定例会号)ゲラ版での確認

<福井副委員長>

ページごとにゲラ版の確認をする。

[ P 1 ]

<福井副委員長>

前回の委員会で指摘のあった市章について、「市議会だより」の前に掲載した。

<全員了>

[ P 2 ~ 3 ]

<福井副委員長>

前回の委員会で保留とした「歩行者優先のまちづくりへ」という見出し付けについて、他に意見がなければ、そのままとするか、「歩行者にやさしいまちづくりへ」と変更するか、挙手により判断したい。

(「歩行者優先のまちづくりへ」挙手多数、決定)

<福井副委員長>

前回の委員会では、井上議員の問責決議について、しっかりと事実を伝えるべきことから、井上議員が議員活動を自粛していることを掲載する方向で確認した。しかし先日、井上議員から自粛していることを掲載してほしくない旨の申し入れがあった。委員会の結論には従うとのことであり、このことについてどのように取り扱うべきか意見を求めたい。

<山本委員>

原稿のとおり掲載すべき。

<苗村委員>

なぜ井上議員はその内容を外すように申し入れされたのか理解できないが、そのまま掲載することでよいのでは。

<西村委員>

外した方がよいのでは。このように掲載してしまうと、報酬について支給していいのかという声が多く寄せられることとなる。

<明田委員>

明確に伝えることにより、西村委員の意見のようなことも想定される。しかし、事実として掲載すべきことと考える。

<福井副委員長>

原稿のとおり掲載することとしてよいか。<全員了>

[ P 4 ~ 5 ]

<福井副委員長>

5ページの工事写真について、20日に予定されている常任委員会現地視察の写真に入れ替えたいと考えている。よい写真がなければそのままとする。正副委員長に一任願いたい。<全員了>

[ P 6 ~ 7 ] <全員了>

[ P 8 ~ 9 ]

<福井副委員長>

酒井議員の代表質問の関連写真について、掲載写真は2段組みを希望されており、スペースに問題はないため、そのまま掲載した。<全員了>

[ P 10 ~ 13 ]

<苗村委員>

日高議員の質問の掲載について、タイトル見出しがそのまま質問となっているが、それでよかったのか。

<山本委員>

前回の委員会でそのまま掲載することを確認した。

[ P 14 ~ 16 ] <全員了>

<福井副委員長>

他に意見がなければ、ゲラ版の確認は以上とする。

#### (イ) 市民の声(議会報告会に参加して)の取り扱い

<福井副委員長>

次回の議会報告会までに「議会報告会に参加して」の「市民の声」の取り扱いを決定したい。

<山本委員>

自治会の負担となってしまうが、自治会に依頼するのが良いと考える。また、会派で担当することについても了と考える。

<明田委員>

当日参加された方から選ぶのが原則。一巡するまで会場ごとに回していくべき。会場を決め、その会場の出席委員が選ぶことはどうか。

<西村委員>

自治会に依頼するよりも直接会場で依頼すべき。

<明田委員>

当日困難であっても、後日依頼することもできる。

<福井副委員長>

「本会議を傍聴して」のような文章でなくても、簡単に短くまとめてもらうことで

も了と考える。

< 苗村委員 >

参加者の中からどのように依頼するのか。全員に声をかけるのか、この人と決めて依頼するのか。どちらにしても遠慮されることが想定される。それならば、山本委員の意見のように会派で担当して事前に依頼しておくほうがよいと考える。「本会議を傍聴して」のように、あらかじめその心づもりをもって参加していただかないと受けてもらえないように感じる。

< 福井副委員長 >

「本会議を傍聴して」のように掲載するイメージであるので、その必要はあると考えるが、例えば会場で直接、複数人に依頼し、名前を掲載して色々な感想を載せるなど、そのような可能性も考えたい。

< 西村委員 >

会場責任者が責任をもって依頼する。それならば会派のことも整理できる。

< 山本委員 >

3会場のうち1会場を決めるのか。今回、南つつじヶ丘の会場責任者を担当するが、地元地域でないので人選が困難である。

< 西村委員 >

他の議員と相談して人選はできる。どの会場で依頼するのか決めなければならない。

< 福井副委員長 >

3会場とも掲載することはどうか。

< 山本委員 >

文字ばかりになってしまう。3会場であればコメントみたいに気軽に書けるような内容とするべき。

< 福井副委員長 >

たとえば3会場からそれぞれ100字程度のコメントを掲載することでどうか。

< 苗村委員 >

その場で依頼する場合、写真はどのようにするのか。また、その場で決まらない場合どうするのか。書いてもらうのではなく、インタビューみたいにその場で聞き取るのであればできると考えるが。

< 福井副委員長 >

写真は掲載しないこととする。会場責任者の負担が増えるが、各会場につき1人、インタビューをして名前を聞き取り、感想をメモすることを願いたい。

< 明田委員 >

もし当日それができなくても、後日、自治会などの協力を得て名簿から聞き取ることもできる。

< 石野委員 >

そのようなインタビューをすることを広報しておく必要があるのでは。

< 苗村委員 >

個別に依頼することであるので、事前に周知しておく必要はないと考える。

< 福井副委員長 >

初めての試みとして実施することとなる。各会場責任者は責任を持ち、各会場の中から感想などをインタビューして取りまとめ、掲載する内容については、その人の町名、名前を聞き取っておくこと。以上、よろしく願います。 < 全員了 >

## ( 2 ) 議会報告会について

### ( ア ) 報告会当日の役割分担について

#### < 菱田委員長 >

役割分担の確認を。これまで要約筆記は議員が担当していたが、議員によってばらつきがあり、会場によっては個人的な意見が出てまとめにくいことがある。今後事務局のサポートを得ながら要約筆記してはどうか。要約筆記は公開もされるので。

#### < 明田委員 >

篠会場で担当したが、難しい問題が出て、それをどう要約筆記すべきか悩み、事務局に手伝ってもらいながら作成した。事務局に手伝ってもらえるなら有り難い。

#### < 山本委員 >

前回担当した時も、自分で作成したが最後は事務局にお世話になった。手伝ってもらえるなら有り難い。

#### < 石野委員 >

前はレコーダーの電池にも問題があった。事務局にお世話になれるなら有り難い。

#### < 苗村委員 >

担当は置かず、事務局に全面的に任せるといふことか。

#### < 菱田委員長 >

そのあたりは議論がある。

#### < 苗村委員 >

全面的に頼るのは事務局に悪い。レコーダーの性能にも問題があるので、お願いできればと思うが。

#### < 明田委員 >

レコーダーをもう少し良いものに更新を。

#### < 西村委員 >

なるべく議員だけで行おうというのが当初であった。事務局さえ大丈夫なら正確さの面で良いとは考える。ただ、事務局に頼ることがだんだん増えてきているように感じる。

#### < 菱田委員長 >

議員自らが全て行うということでやってきたが、記録として残る大事な部分で苦労いただいているので、手伝いがあればありがたい。事務局はどの程度関わられるか。

#### < 事務局 >

実際には写真撮影や要約筆記にも関与している。最終的な確認は担当議員にお願いするが、要約筆記なので一から作る方が良いのではないか。

#### < 福井副委員長 >

それで良いのか。今の報告会は、議会報告もして市民の意見も聞くというスタイルであり、広聴的な性格があまり前面に出ていない。だからこそ議員が全部やろうと前委員長も現委員長も言ってきたのではないか。大事だからといって広聴の部分を事務局に任せてしまうのは、趣旨として間違っていないか。広聴的な立場を打ち出していない以上、少々不完全なものがHPに載っても仕方がない。郡山市のように「議会報告会ではなく広聴会」としているなら、聞いたことに正しく判断して回答しなければならぬので、事務局が関わらざるを得ないが。

#### < 菱田委員長 >

事務局が手伝うことで広聴が欠如することにはならない。本市でも、報告後に地域

課題や要望などを聞き、広聴の姿勢を出そうとしている。まだ十分ではないが、回を重ね、最終的には市長に頼んでもダメな意見を議会に聞いてもらおうということになれば広聴活動ができてきたことになると思う。議員が自ら活動する中での議会報告会なので基本的には議員で行ってきたが、実際には事務局も会場に来て手伝っている。事務局が記録をしている部分も実際にあるので、それを明確にしても良いのではと考えた。広聴という部分と議事録を残す部分とは違う。

< 明田委員 >

自分達でやるという本来的な趣旨は変えない方が良い。前は穂田野や篠で難しい質問があり、答えるのに集中しており、後で録音を聞いても分からないものがあった。我々で今まで通り行うが、補助として事務局も入る程度で良いのでは。最初の発言は取り消す。

< 事務局 >

実質的には丸投げされる議員もあり、その時に事務局が一から録音を聞くことになり大変であったという現実もある。今後、議員が主体となってい、事務局もサポートとして関わるといふことでどうか。

< 菱田委員長 >

副議長や事務局からの提案で良いか。 < 全員了 >

担当はあくまで議員であるが、事務局に強力にサポートいただくこととする。

#### (イ) 報告会当日のアンケートについて

< 菱田委員長 >

前回から少し変更した。特に、表面の左下に「議会報告会に参加してのご感想をお書きください」としている。会場責任者が「市民の声」の記事をまとめる際、これも参考にしているかどうか。裏面は議会だよりについてである。何か意見は。

< 明田委員 >

「報告会に参加して」と同じ項目があるのだから、最初からここへの記載をお願いしておき、それを掲載することにしては。

< 苗村委員 >

アンケートは箱に回収してしまい、誰のかわからなくなってしまうので、頼んだ人には手渡しで回収する必要がある。ここに書いてもらっても、インタビューで聞いたものを控えておくのでも、どちらでも良いのではないか。

< 菱田委員長 >

この欄を活用するということが良いか。 < 全員了 >

では、アンケート表面の感想欄も活用することとする。氏名が分からない場合は、性別と年齢の記入欄から情報を拾い、「50代女性」等とするのも1つである。

< 西村委員 >

それで良いのでは。

< 菱田委員長 >

そのような形で進める。

#### (ウ) 全議員へのアンケートについて

< 菱田委員長 >

全議員へのアンケート案である。26人全員に記名式で行いたい。このような内容

で良いか意見を。良ければ議運に諮ってから配付する。

- 意見なし -

< 菱田委員長 >

28日の招集告示日の議運で確認後、配付する。

< 菱田委員長 >

報告会のチラシの回覧は8月1日になる。会場責任者は自治会へチラシを届け、鍵やマイクの設備の確認を。

< 石野委員 >

回覧の準備はできているのか。

< 事務局 >

できている。

### 3 その他

・ 次回の委員会の日程について

< 菱田委員長 >

8月28日の午後、会派会議が終わってから開催する。

~ 11 : 13